

企画展紹介 「石見美術館開館20周年 これからの石見美術館を
考えるために、そのあゆみを振り返る」

劇場事業紹介 「ダイバーシティいわみ事業
音遊びの会 LIVE『音のグラングラン』」

● わたしのおすすめ

● PICK UP EVENT ほか

新年は、
4日(日)から開館！

開館20周年企画展の最後を飾る冬の企画は、「石見美術館」そのものがテーマなのですね。

はい。ご存じのとおり、島根県立石見美術館は今年で開館20周年を迎えました。「美術館がうまれて、それから ―コレクションと石見美術館の20年―」は、石見美術館のコレクションや開館当初の資料などをとおしてこれまでのあゆみを振り返り、当館ならではの魅力や特徴を改めて紹介しようという展覧会です。この展覧会を見れば、石見美術館が一体どんな美術館なのか、知っていただけるのではないかと思います。

開館当初まで振り返って…ということは、大谷さんは石見美術館が開館したときから働いておられるのですか？

実は、私が当館での勤務を始めたのは昨年からです、恥ずかしながら当館を訪れたことは着任の準備を始めるまでありませんでした。一方で、私以外の学芸員は皆9年以上ここで働いています。中には、まだ美術館準備室（新しく美術館をつくるための準備をする組織）だった頃から働いている学芸員もいます。誰のどのような願いのもとにここへ建設されるに至ったか、建



図1 岡田二郎助「黒き帯」 1915年 島根県立石見美術館蔵

石見美術館開館20周年
これからの
石見美術館を
考えるために、
そのあゆみを
振り返る

開館20周年企画展

「美術館がうまれて、それから ―コレクションと石見美術館の20年―」
について、展覧会担当の大谷姫歌学芸員にききました。

設が決まってから今までの間にどのようなことが起きたか、さらには一つ一つの作品を収集することになった理由とは——そうしたストーリーを、実際にその現場を見てきた先輩学芸員から聞き、また様々な資料によって知りました。そのなかで、20周年という大きな節目に当館のこれまでを振り返り、記録しておくための展覧会が必要なのではないかと考え、本展覧会を企画しました。

なるほど。具体的にはどのような作品を見ることができるのか、教えてもらえますか？

当館のコレクションは、「森嶋外ゆかりの美術家の作品」「石見の美術」「ファッション」という三つの収集方針のもとに集められています。基本的にはこれらの収集方針に沿って本展覧会を章立てし、それぞれの領域から特に見てもらいたい作品や、石見美術館を語る上では欠かせない作品、他の美術館への貸

出を数多くしてきた作品など、様々な観点から出品作品を選びました。例えば、岡田二郎助の《黒き帯》(図1)は、当館の設立が決定したのち、収蔵するために初めて購入された、いわば当館のはじまりともいえる作品の一つです。作品自体の魅力に加えて、その作品をコレクションしたのにはどのようなねらいがあったのかということなども含め、多角的な視点から作品を紹介します。



図2 大下藤次郎《多摩川畔》1907年 島根県立石見美術館蔵

石見美術館の魅力といえば、作品はもちろんのこと、内藤廣さんが設計した美術館じたいの建築にもひかれます。建築の紹介などはあるのでしょうか？

もちろんあります。今回の展覧会では、今年の夏に渋谷ストリーム ホールで開催された「建築家・内藤廣 赤鬼と青鬼の場外乱闘 in 渋谷」のためにつくられた、グラントワの大型模型を特別にお借りする予定です。模型と実際の建物とを比較して見てみるのも面白いのではないのでしょうか。

盛りだくさんの展示ですね。今から楽しみです。

ぜひこの冬は石見美術館へ、この地に美術館がうまれて、それから20年で何が起こったのかを見にきてください。美術館職員一同、お待ちしております。

開館20周年記念企画展

美術館が うまれて、 それから

2025
12.20(土) → 2026
2.23(祝月)

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで)
【休館日】火曜日、12月28日～1月3日
【観覧料】当日券：一般800(650)円、大学生500(400)円
前売券：一般750円、大学生450円

※()内は20名以上の団体料金。 ※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者(1名まで)は入場無料。 ※外国人は当日料金が半額(バスポートをご提示ください) ※前売券はグラントワ総合案内カウンター(12月19日まで)およびオンラインチケット「シマチケ」(WEBサイト)で求められます。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ
【特別協力】内藤廣建築設計事務所 【後援】芸術文化とふれあう協議会

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

高校生以下無料

原田直次郎
《男児肖像》(部分)
1887-1896年頃

山田真作
《真夏の港》(部分)
1932年

山本葉谷
《騎馬狩獵図》(部分) 1856年
(島根県立津和野高等学校旧蔵)

ガブリエル・シャネル
《イヴニング・ドレス》
1925年

コレクションと 石見美術館の 20年

ilewa mi

関連プログラム

◎参加には企画展観覧券
またはミュージアムパスポートが必要です

◎申し込み方法の詳細や、
その他の関連事業については
当館ホームページ等でお知らせします

QRコード

内藤廣によるナイトミュージアム建築案内

美術館の閉館後、グラントワの大型模型を囲んでの
建築案内を開催します。

1月16日(金) 18:30～19:30
会場：美術館ロビー集合
講師：内藤廣(建築家・東京大学名誉教授・多摩美術大学学長)
参加無料／事前申込制／定員20名

内藤廣 講演会

当館をはじめとし、数々のミュージアムの設計を手がけてきた
内藤廣さんより、「美術館建築」をテーマにお話しいただきます。

1月17日(土) 14:00～15:30 会場：多目的ギャラリー
参加無料／事前申込制／定員70名

ワークショップ

「展覧会チラシに、自分のマークを描こう」

開館以来、石見美術館の展覧会広報物のデザインを
数多く手がけてきたデザイナー・野村勝久さんを講師に迎え、
これまでの企画展チラシを使って、自分のロゴマークをつくります。

2月14日(土) 14:00～16:00 会場：講義室
講師：野村勝久(グラフィックデザイナー・九州大学准教授)
参加無料／事前申込制／定員20名

ミニ観に
レビュー

・社会的に女性の地位や世界のファッション界で日本の地位が低い時代に、活躍することの苦難は相当なものであったと思う。素晴らしい作品を見せられて、その多くがこの美術館にあることも含めて感謝いたします。(益田市・60代／森英恵 ヴァイタル・タイプ)

・子どもと一緒に来ましたが、ヴァイオリンや安来節などもあって楽しめました。大ホールをぜひいたく使い方をしている新鮮なステージで、学芸員さんも登場してビックリでした。(益田市・40代／ミュージア vol.25「THE TETORAPOTZ+SNATCHライブ」)

・寺尾さんから大きな深い祝福を受けたような時間でした。その祝福が、たくさんの別れや悲しみから膨らんだもので、それを愛として受け取れたこと心から感謝します。(浜田市・40代／いわみステージ「寺尾紗穂コンサート in さぶみ」)

ダイバーシティいわみ事業

音遊びの会LIVE
「音のグラングラン」

ぎこちいい即興音楽の魅力とは？

神戸を拠点とするバンド「音遊びの会」がグラントワに登場！

知的な障害のある人を含むアーティスト・音楽家・ダンサーたちが、

既定の概念にとらわれない音や振動を生み出し、

きれいな音、ざわめく音、なんじゃこりゃ!?と思わせる音…

“心地いい”と“ぎこちない”が交差する即興音楽の世界へ、皆さんを誘います。

予測不可能な即興音楽

ブーン、チャチャ、ドカン！

あちこちで繰り出される音遊びの会の音楽は常に変容する生き物のような存在です。楽譜やルールに縛られず、そのとき限りの場所や人と人との多様な関係に歌い、踊り、音で遊びます。演者と観客の見る／見られるという関係性を解体・再構築し、あらゆる二項対立を越境するのが、彼らのスタイルであり、そうした姿勢が、だれにとっても対等に開かれた表現の場を実現しています。

ダイバーシティいわみとは？

障害の有無や年齢に関わらず、芸術文化を身近に感じてもらうことを目的として令和3年にスタートした「ダイバーシティいわみ事業」。主に養護学校・ろう学校へのアウトリーチ、分野を

横断した地域のネットワークづくりを目的とした「オープンミーティング」、文化施設に距離がある方・アクセスしにくい層への鑑賞・参加の機会を届ける音楽会「にぎやかな日々」の開催など、お越しいただいた方が安心して表現や鑑賞の場に参加できることを目指して実施しています。近年は蓄積した経験と今後の課題を踏まえ、対話と芸術実践によって、事業の明日を探索しています。

音遊びの会が音つれて訪れる！

「音遊びの会」は2005年に結成されたバンドで、知的に障害のある人、音楽家、美術家、ダンサー、福祉従事者など総勢50名からなる音楽プロジェクトです。即興演奏を通じて音楽や福祉のあり方を模索しながら、ワークショップやコンサートなど



様々な活動を重ねています。現在も月2回のワークショップを地元神戸にて継続中、そして進化中で、2022年にはドキュメンタリー映画『音の行方』が公開されました。

公演当日はライブコンサートに加え、ホワイエでレコード・おかし・雑貨等の販売も予定し

ています。また、関連イベントとして前日の11月29日は益田市にあるShimane Cinema Onozawaにて音遊びの会ドキュメンタリー映画『音の行方』の上映&トークイベントを開催！

お得な2日間通しチケットもありますので、両日あわせてぜひお越しください！

関連イベント
「音遊びの会 ドキュメンタリー映画『音の行方』
上映会&トーク」
2025年11月29日(土) 開演 16:30(開場 16:00)
Shimane Cinema ONOZAWA
[料金]一般 1,000円、U-30 500円、未就学児無料(要整理券)
[トーク登壇者(予定)]音遊びの会メンバーと地元関係者
[鑑賞サポート]バリアフリー字幕・音声ガイド、手話通訳、車いすスペース

音遊びの会LIVE「音のグラングラン」
2025年11月30日(日) 開演 14:00(開場 13:30)
グラントワ大ホール 舞台上舞台
2日間通し券
一般 1,500円
U-30 800円
[料金]一般 1,000円、U-30 500円、未就学児無料(要整理券)
[出演]音遊びの会
[ホワイエ出店] STEREO RECORDS、ムジナの庭、HAHAHANO.LABO、株式会社NPO スウィング ほか
[鑑賞サポート]車いすスペース、補助犬同伴可、看護師在中、カームダウンスペース、多目的トイレ、授乳室 ほか

The 石見美術館
わたしのおすすめ
Collection

澄川喜一
《扉》
2020年 当館蔵

専門学芸員 左近充直美

無から有を創り出すこと。芸術に共通するこの楽しさと苦しみ^{とき}の産物には、地道な努力の積み重ねと長い刻が必要です。その内なる闘いは一生続きます。同時に年齢を問わず、様々な制約を負わない自由さがあり、生涯をかけて挑むことができる幸福な仕事でもあります。この彫刻は、島根県吉賀町出

身の彫刻家、澄川喜一の89歳の時の作品です。澄川は2023年に92歳で逝去するまで、創作の歩みを止めませんでした。「扉」と題したこの作品はそれまでの彫刻とは少し趣を異にします。余計なものをそぎ落とし、シャープで洗練された作風から、手数を極力減らし、やや無骨ながら形の存在を醸し出す物質感へ。進化し続け、次の扉を開けられた喜びかもしれません。

報告します！

グラントワ開館 20 周年記念
国際音楽交歓コンサート 2025

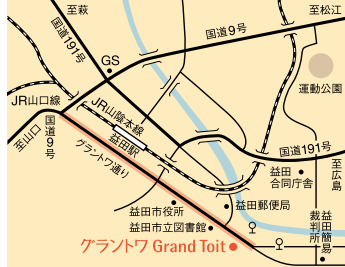
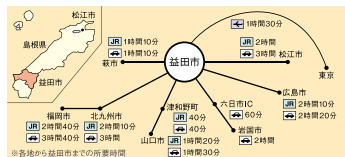
9月13日(土)大ホールにて、ロシア、ウクライナ、ウズベキスタン、ドイツから5名の演奏家を招いたクラシックコンサートを開催。ソプラノ、バス、ヴァイオリン、ピアノによる演奏で、誰もが1度は耳にしたことのあるクラシックの名曲の数々をお届けしました。

第2部ではグラントワ・ユース・コールとグラントワ合唱団も出演して、合唱曲を披露。アンコールではソプラノ歌手の「日本大好き」スターシャさんとともに、唱歌「ふるさと」のコーラス歌唱も実施しました。

国境を越えた言語である音楽をとおり、様々な国の人たちで作らあげた今回のコンサート。観客からは、「生の音の豊かさ・美しさに聴き入った」「音楽の力でみんなが希望を見出し、平和な世の中になることを祈ります」といった声がかきれました。

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は開館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00
■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合あり。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始
※年末年始:12/28~1/3



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」

〒698-0022 益田市有明町5-15

TEL: 0856-31-1860 (代表)

FAX: 0856-31-1884 (代表)

e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp

www.grandtoit.jp



P I C K U P E V E N T

ありがとう 35mm 映写機

『砂の器』(1974年) 2025年12月26日(金)・27日(土)

『ドラえもん のび太の恐竜』(1980年) 2025年12月27日(土)

小ホール [全席自由・税込] 各回:一般 1,500円、高校生以下 500円

※上映時間ほか詳細は、決まり次第HPなどお知らせします。



© 1974 松竹株式会社 / 橋本プロダクション

グラントワの35mm映写機が2026年1月からの工事に伴い、撤去される見込みとなりました。長年親しまれた映写機に感謝を込めて名作2本を特別上映します！映写機の見学などバックステージツアーも予定。フィルムならではの魅力をぜひ劇場でお楽しみください！

劇・場・を・探・る



【ピアノ庫】

ピアノ庫とは、グランドピアノなどの大型ピアノを保管するための専用室です。ピアノは温度や湿度の変化に敏感な楽器のため、ピアノ庫では空調や湿度管理が徹底され、最良の状態で演奏に臨めるよう整えられています。また、搬出入のしやすさや安全性も考慮された設計になっており、演奏会を支える重要な舞台裏の設備のひとつです。

今回は「リハーサル」です。

■広告欄内に特に記載の無い公演は、公演当日無料託児サービスがございます。ご希望の方は、公演1週間前までにお電話にてお申込みください。TEL:0856-31-1860

■U-25及びU-30チケットは、公演日時時点で、25歳以下及び30歳以下の方が対象です。当日年齢が確認できる身分証明書をお持ちください。

しまね伝統芸能祭 2025 クロージング公演
みなみ かくら
魂神楽
舞台を創造！
石見神楽の新たな
舞台を創造！
モモチヨロズヨ
このはなをくや
木花之佐久夜
たけみなかた
建御名方
2025年11月23日(日) 開場 13時 開演 14時 15分
いわみ芸術劇場大ホール

作・演出:戸部和久
主演:石見神楽万雷
特別出演:小林幸子
出演:竹本織太夫、本間日陽、RYO (Beat Buddy Boi)、辻本好美他
揮毫:鈴木敏夫

入場料 ※全席指定・税込
[前売]一般 6,500円、U-25 4,500円
[当日]一般 7,000円、U-25 5,000円
※詳細はグラントワHPをご覧ください

チケット
好評
発売中

2026
1.10 SAT 11 SUN
開場 13:30 / 開演 14:00
いわみ芸術劇場
大ホール
入場料 [前売・全席指定・税込]
一般 9,000円
U-30 7,000円
※当日各500円アップ

チケット
好評
発売中

橋爪功が演じる、
人生の終幕に見える風景と情熱
『老い・愛・別れ』
「かけがえのない時間と記憶を描く
家族劇に、演劇界の精鋭が集結！」

Avant
Written by Florian Zeller
Translated by Atsuko Saito
Directed by Ladislav Chollat
飛び立つ前に
de s'envoler